

# 博士学位論文 審査結果の要旨

芝浦工業大学大学院 理工学研究科 博士（後期）課程  
博士学位論文審査委員会

主 査 廣瀬 敏也

審査委員 長谷川 浩志

審査委員 松日楽 信人

審査委員 平川 豊

審査委員 中野 公彦（東京大学）

\*審査委員

氏 名	後 閑 雅 人
論文題目	自動運転システムにおける車両制御の安全性および運転権限移譲の インターフェースに関する基礎研究
〔論文審査の要旨〕 本研究は、限定された区間や地域で活用される自動運転システム（レベル 4）を対象とし、（1）他の交通参加者への影響に配慮した自動運転システムの制御手法のあり方、（2）自動運転のサービス提供範囲外を走行する際の自動運転から手動運転への移行手法のあり方、（3）自動運転システム（レベル 1）の高機能前照灯（Adaptive Driving Beam）が夜間走行の視認性に及ぼす影響について対象としている。本研究はドライビングシミュレータを用いた実験により、交通参加者にとって好ましい自動運転システムのインターフェースに関して、（1）の制御手法に関する研究は、自動運転と手動運転が混在する環境下において、自動運転の制御が他のドライバの運転への妨げにならない制御手法の検討を行っている。（2）の自動運転から手動運転への移行手法に関する研究は、自動運転使用時にドライバが睡眠を取ることを想定し、ドライバの出眠時における手動運転への安全な移行手法の検討を行っている。（3）の夜間走行の視認性に関する研究は、自動運転から手動運転への移行後のドライバによる市街地の走行を想定し、夜間走行時における歩行者の視認性を対象とした高機能前照灯の効果を対象としており、歩行者が眩惑を生じず、ドライバが遠方まで視認可能な高機能前照灯の効果評価を行っている。 後閑雅人氏の博士学位論文について本審査を豊洲キャンパス教室棟 5階 507 教室にて行った。本審査では、申請者より上記の論文に関する研究内容と研究成果に関する説明および予備審査に基づく修正内容の説明が行われ、その後、審査委員および聴講者による多数の質疑応答があった。研究業績は、査読論文 2 件（内、1 件が筆頭）、国際会議 6 件（内、2 件が筆頭）の発表を行っており、本学の博士学位審査基準を満たしていることが確認された。以上、質疑応答および研究業績を踏まえて、審査委員全員による投票の結果、最終審査を合格となった。	